Creative Enzymes®

豚由来のメチル化修飾トリプシン、再組換え

Cat. No. NATE-1893

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トリプシンは、リジンおよびアルギニン残基のカルボキシル側でペプチド結合を特異的に加水分解します。組換えトリプシンは、他のプロテアーゼ活性を一切含まず、TPCKは不要であり、含まれていません。未修飾のトリプシンは自己プロテオリシスの影響を受け、タンパク質の配列決定やHPLC/MSペプチド分析に干渉する断片を生成します。配列決定グレードの修飾トリプシンは、還元メチル化によって修飾された組換え豚トリプシンであり、プロテオリティック消化に□して耐性を持っています。
用途	ペプチドマッピングアプリケーションやペプチド質量フィンガープリンティング、またはMS/MSスペクトルマッチングによるタンパク質同定のためのタンパク質消化物です。これは、溶液中またはゲル中での消化反□に適しています。
別名	α-トリプシン; β-トリプシン; コクーンアーゼ; パレンザイム; パレンザイモール; トリプター; トリピュア; 疑似トリプシン; トリプターゼ; トリップセルイム; 精子受容体ヒドロラーゼ; アルファトリプシン; ベータトリプシン; EC 3.4.21.4; トリプシン; アセチルトリプシン; メチル化修飾トリプシン; メチル化修飾トリプシン

製品情報

種	豚の
由来	大腸菌
形態	凍結乾燥された
EC番号	EC 3.4.21.4
CAS登□番号	9002-07-7
純度	> HPLCによる95%
活性	>4500 USP単位/mgタンパク質
単位定義	1 USP単位のトリプシン活性は、pH7.6および25°Cで3.0mlの反□容積において、基質としてBAEEを使用した場合、1分あたり0.003のΔA253を生成します（光路長1cm）。

使用法とパッケージング

調製方法	1. 必要に□じて、50mM HAcで再組換え修飾トリプシンを希釈します。使用する際は、50mM NH4HCO3またはpH7.0-8.0のバッファーで直接希釈します。消化バッファーには1mM CaCl2を含めることが推□されます。目標とするタンパク質に□する比率は1:20から1:100（w/w）で、最適なpHはpH 7.0-8.0です。 2. この製品を使用する際は、室温で解凍し、使用前に優しく混ぜてください。 3. 5回の凍結-解凍サイクルで活性は失われません。

保管・発送情報

保存方法	1. シーケンシンググレード修飾再組換えトリプシンの凍結乾燥品は、密閉容器に入れて2°C-8°Cで

保存方法	1. シーケンシンググレード修飾再組換えトリプシンの保証乾燥品は、密閉容器に入れて2°C-8°Cで保存する必要があります。24ヶ月間安定しています。溶解後は-70°Cで保存する必要があり、こちらも24ヶ月間安定しています。 2. 5回の凍結と解凍を繰り返した後、95%以上の活性が残ります。 3. 4°Cまたは25°Cで24時間保持した後、90%以上の活性が残ります。 4. 50mM NH4HCO3中のシーケンシンググレード修飾再組換えトリプシンの0.05 mg/ml溶液は、37°Cで3時間インキュベーションした後、95%以上が保持されます。20時間の長期インキュベーションの場合は、1mM CaCl2を含むことが推□されます。